

# 依頼表現について

一文末表現に焦点を当てて

高 村 英里奈

## 1. はじめに

私たちは言語を使用する際、聞き手との上下関係や親疎関係などに基づき、その場にふさわしい言葉を選んで発話をしている。言葉を正確に使い分けることは社会の中で生活するためには必要不可欠である。今回の研究は「依頼」の場面に焦点を置き、私たちが普段、無意識に場面に合わせて使用している依頼表現の使い分けを明らかにしようとするものである。

## 2. 先行研究

### 2.1. 依頼表現の使い分けの規定因について

岡本（1988）によると、慣習的な形式の依頼表現には様々な表現があり、こうした表現形式の違いによって、表現の印象（丁寧さ—ぞんざいさ、押しつけの強さ—弱さなど）に差異が表れる。また、岡本は“依頼表現のバリエーションを規定する要因”として以下の三点を挙げている。第一に、生育地、方言、年齢、職業、性別などを含む、話し手（依頼者）の属性である。次に、話し手と相手（被依頼者）との関係である。これは、話し手と聞き手との親疎関係や地位関係などを指す。最後に、特定の依頼に関する事項についての話し手の認知が挙げられる。これは、依頼自体の性質、話し手の必要とするもの/ことが何かを聞き手が知っているかどうか、聞き手が依頼を履行する可能性・障害という三点について話し手がどう考えているかを指す。以上を、依頼表現のバリエーションを規定する要因とし、考察を進めていく。

### 2.2. 依頼表現の使用実態について

金（2000）は日本語母語話者が依頼表現として多く用いる授受補助動詞「～てくれる／くださる」と「～てもらう／いただく」について、家族または家族以外に対してどう使い分けているかをアンケート調査において明らかにし、男女別・年齢別にも結果を比

較した。被験者300人を対象とするアンケート調査の結果、聞き手が家族の場合は「くれる型」が多く使用され、年齢別にみると最高齢層が他年代に比べ「くださる型」を多用していることが分かった。また金は、性別による違いについて、「もらう型」の割合は女性の方が高かったと述べている（金，2000）。

### 2.3. 依頼表現「もらう」「くれる」について

山田（2004）は、「～てもらえる／もらえない」や「～てくれる／くれない」などの疑問形を用いた依頼は、聞き手に対し動作生起を働きかける表現であるとした。さらに、「～てくれる？」や「～てくれないかな？」といった「くれる」を使用した表現は「～してください。」や「～して。」といった表現とは違い、聞き手存在による聞き手目当て性と聞き手が動作主になっているという動作生起の可能性が揃った場合に依頼という機能を担う表現であるとしている（山田2004, pp. 245-247）。また、山田は「～てもらえる／もらえない」などの「もらう」を使用した表現についても同様のことを述べているが、こちらには「くれる型」には見られない「もらってもいい？」などの許可の問いかけ系の依頼表現があることを特徴としている（山田2004, p. 250）。

## 3. 調査概要

### 3.1. 調査の目的

本研究の目的は、日本語での依頼における文末表現について、依頼者の性別と依頼内容の負担度の大小によってそれぞれ表現にどのような相違点がみられるのかを比較し調査することである。特に明らかにしたいのは以下の2点である。

- ① 日本語母語話者による日本語での依頼の場面において、依頼内容の負担度が異なる場面では文末で使用される表現は、それぞれどのような特徴がみられるか。
- ② 日本語母語話者による日本語での依頼の場面において、話し手（依頼者）の性別によって文末表現にどのような相違点が見られるか。

### 3.2. 調査方法

調査対象者は日本語を母語する19歳～27歳の大学生または大学院生（学部や専攻は問わない）とし、人数は男女各32名ずつの合計64名である。調査の手順は金（2000）を参考にし、負担度が異なる内容の依頼を行う場面を設定し、各場面においてどのような依頼表現を使用するか自由に記入する方法でアンケートを行った。なお、一部、回答しや

すいよう語尾に何も付け加えないもの（例：それとって。）について「X」と記入するようこちらで定めた。

### 3.3. 場面の設定

依頼内容の負担度を大・中・小に分け、八つの依頼場面（「付録」参照）を設定した。負担度が中程度のものは本研究の考察対象としないが、回答者がアンケートの意図を察することがないよう、設問に含めた。なお、相手（被依頼者）との関係性によって回答に差が出ると考え、発話者（依頼者）と相手との社会的地位関係は全て「親しい友人」とした。

## 4. 結果と考察

本研究では、日本語の依頼表現における性別による違いと依頼内容の負担度による違いについて、以下の三つの視点に基づいて考察する。

- ① 「～もらう」「～くれる」という2つの表現の違い
- ② 「もらえない／くれない」などの否定型と「もらえる／くれる」などの肯定型の違い
- ③ 「もらえたりしない／くれると嬉しいんだけど…」といった婉曲的な表現と「もらえる／ください」といったより直接的な表現との違い

なお、負担度が同程度の設問間の回答には目立った違いが見られなかったため、集計は負担度の大・小の違いのみを基準に行った。そのため回答の総数は男女各32人×負担度大、小の設問3問ずつの96である。

### 4.1. 「もらう型」と「くれる型」との違い

ここでは、「そのペンとってもらえる？」のように「～てもらえる？」や「～もらえたりする？」などの「もらう」を使用した表現（以下「もらう型」）と、「そのペンとってくれる？」のように「～てくれる？」や「～てくれないかな？」などの「くれる」を使用した表現（以下「くれる型」）との違いに焦点を当てる。「もらう型」「くれる型」に着目し、依頼の負担度を「大」に設定した設問に対する回答を表1に、「小」に設定した設問に対する回答を表2にそれぞれ示す。

表1 「もらう型」「くれる型」依頼 内容の負担度一大 表2 「もらう型」「くれる型」依頼 内容の負担度一小

	男性	女性
もらう型	25	48
くれる型	45	26
X (付け加え無し)	5	4
その他	21	18

	男性	女性
もらう型	11	34
くれる型	48	44
X (付け加え無し)	32	18
その他	5	0

表1、表2から、依頼内容の負担度と性別の違いのそれぞれによって「もらう型」「くれる型」の使用頻度に大きな差が表れることが分かる。以下では、表1・2で示した結果を参考に上記の各の違いについて考察する。

#### 4.1.1. 依頼内容の負担度による違い

図1は、女性のデータから作成したパイグラフである。なお、凡例項目のXは語尾に何も付け加えをしない回答（例：そのペンにとって。）を示す。

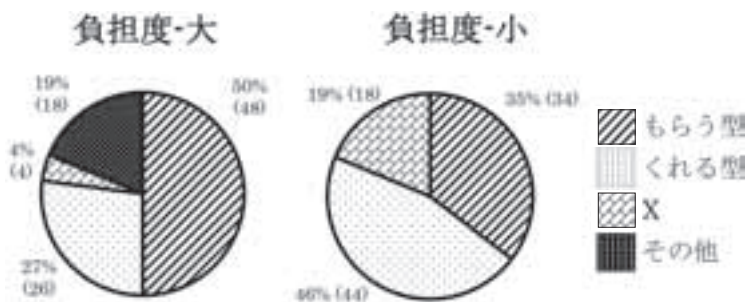


図1 「もらう型」「くれる型」の依頼内容の負担度の差による比較（女性の回答から）

図1から分かるように、負担度が大きいほど「もらう型」の割合が大きくなり、また、負担度が低い場合には「X（付け加えなし）」の割合が大きくなる。図1では女性の例のみを挙げたが、表1、2の通り、この傾向は男性にも見られたため、負担度が大きい程「もらう型」の割合が大きくなると言える。これは「くれる型」よりも「もらう型」を使用した方が相手に対する配慮が感じられるためではないだろうか。ここで「パソコンを借りる。」（依頼内容の負担度一大）という場面を例に考える。

- 1（くれる型）. パソコンが壊れちゃったから一週間だけ貸してくれない？
- 2（もらう型）. パソコンが壊れちゃったから一週間だけ貸してもらえない？

1の表現は2の表現に比べ、依頼者は聞き手が依頼を履行する可能性が高いと考えている印象を受ける。これは、「くれる」のガ格（「名詞＋が」の形で表わされる格を指す）は聞き手であり、「もらう」のガ格は依頼者であるためである。依頼者が聞き手の依頼を履行する可能性が低いと考える場合、相手が自分に対して何かをしてくれるという意識よりも自分が何かをしてもらうという意識がより強くなり、行為の主体を聞き手ではなく自分に設定して発話をするのではないだろうか。一方で、「ペンを貸して」や「電気を消して」など、普通その依頼が履行されるような依頼内容の負担度が小さい場面において依頼者は断られることを想定しないため「くれる型」の割合が大きくなる。

また、「もらう型」の特徴として「もらえる?」「もらえない?」「もらえるかな?」など、相手が依頼を履行することが可能かどうかを問う形になるということが挙げられる。よって、断られる可能性が高い依頼内容の負担度が高い場合に、相手が履行可能かどうかを気にする「もらう型」の使用が多く見られたのではないだろうか。

#### 4.1.2. 男女による違い

図2は、負担度が小さいもの同士の男女の回答のデータを例に作成したパイグラフである。なお、凡例項目のXは語尾に何も付け加えをしない回答（例：そのペンにとって。）を示す。

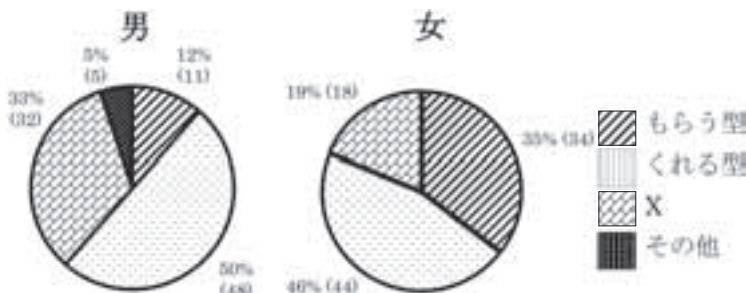


図2 「もらう型」「くれる型」の性別による比較—依頼内容の負担度（小）

図2から分かるように、男性の回答では「くれる型」の割合が大きく、一方で女性の回答では「もらう型」の割合も大きくなる。図2では負担度が小さい場合のグラフのみを挙げたが、表1、2の通り、この傾向は負担度が大きい場合の回答にも見られたため、男性は女性に比べ「くれる型」を多く使用すると言える。この違いの理由として、男女の対人関係に対する意識の違いが挙げられる。高井（2009）によると、大学生および成

人を対象とするアンケート調査の結果、大学生及び成人は「男らしさ」として包容力・たくましさ・決断力・積極性を挙げており、一方で「女らしさ」として気遣い・繊細さ・愛嬌などを挙げている（高井, 2009）。このことから、男性、女性が上記で述べたような「男らしさ」「女らしさ」を持つ人間として振舞おうとした結果が、今回の調査結果にも表れているのではないだろうか。4.1.1.で述べたように、「もらう型」を使用する際には「くれる型」を使用する際に比べ、相手へ多くの気遣いをしていると考えられる。「女らしさ」に含まれていた気遣い・繊細さを表現するため、女性の回答には「もらう型」が多く見られ、反対に男性では「男らしさ」に含まれる決断力・積極性を意識した言語使用がなされているのではないだろうか。

さらに、Xの割合について着目する。図2に見られるように、男性ではこのXの割合が非常に多くなっている。これも、男性がその「男らしさ」と考えられている決断力・積極性を意識して言語表現を選択していることの証明であるといえよう。

4.2. 否定形・肯定形の違い

4.1. では「もらう型」「くれる型」に着目して結果をみてきたが、ここではアンケート調査で得られた結果について、例えば「そのペンとってくれない？」のように「もらえない／くれない」などの否定的な表現を使用した回答（以下「否定型」と示す）と、「そのペンとってくれる？」のように「もらえる／くれる」などといった肯定的な表現の回答（以下「肯定型」と示す）との違いに焦点を当ててみていく。アンケート調査で得られた結果を「否定型」「肯定型」に着目して集計したものが以下の2種類の表であるが、これらを参考に依頼内容の負担度による違い、被験者の性別による違いの二点それぞれについて考察していく。以下に、「肯定型」「否定型」に着目して集計した表3、表4を示す。

表3 「否定型」「肯定型」依頼内容  
の負担度一大

表4 「否定型」「肯定型」依頼内容  
の負担度一小

	男性	女性
否定型	45	29
肯定型	17	24
許可型	10	27
X（付け加え無し）	5	4
その他	19	12

	男性	女性
否定型	26	20
肯定型	20	34
許可型	6	20
X（付け加え無し）	32	18
その他	12	4

表3、表4から、依頼内容の負担度と性別の違いのそれぞれによって「否定型」「肯定型」の使用頻度に差が表れることが分かる。以下では、表3・4で示した結果を参考に上記の各違いについて考察する。

#### 4.2.1. 依頼内容の負担度による違い

表3・表4から「否定型」「肯定型」の二つに着目すると、男女共に依頼内容の負担度が大きいほど「否定型」の割合が大きくなっていることが分かる。以下の図1は、より違いが明白な男性のデータを例に作成したパイグラフである。なお、凡例項目のXは語尾に何も付け加えをしない回答（例：そのペンにとって。）を示す。

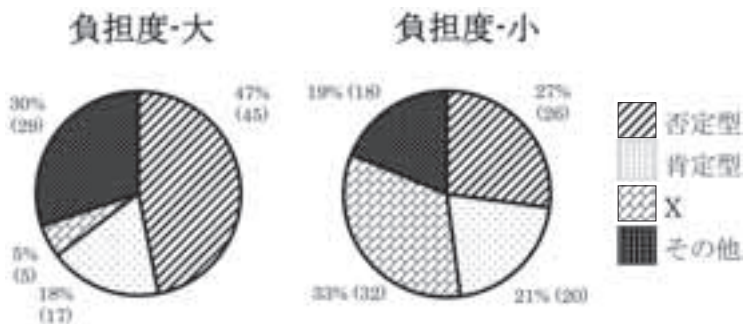


図3 「否定型」「肯定型」の依頼内容の負担度の差による比較（男性の回答から）

図3より、負担度が大きいほど「否定型」の割合が大きくなり、また、負担度が小さい場合は「X（付け加えなし）」の割合が大きくなることが分かる。図3では男性の例のみを挙げたが、表3・4から分かる通りこの傾向は女性にも見られるため、負担度が大きいほど「否定型」の割合が高いと言える。これは「否定型」を使用する方がより相手が依頼を断りやすくなるからではないだろうか。「くれない」という否定型の表現の使用は「くれる」という肯定型の表現の使用に比べ、依頼者の腰が低いという印象を受ける。「肯定型」の表現は相手が依頼を履行してくれることにより大きな期待を抱いている表現であり、否定型に比べ被依頼者が依頼を断りづらくなる、さらに言うに相手に断る隙を与えないという印象を持ちやすい。同様の理由から、負担度が小さい場合にはXの割合が高くなっていると考えられる。次に依頼者の性別による違いについて考察する。



#### 4.2.2. 男女による違い

図4は、負担度が高いもの同士の男女の回答のデータを例に作成したパイグラフである。なお、凡例項目のXは語尾に何も付け加えをしない回答（例：そのペンにとって。）を示す。

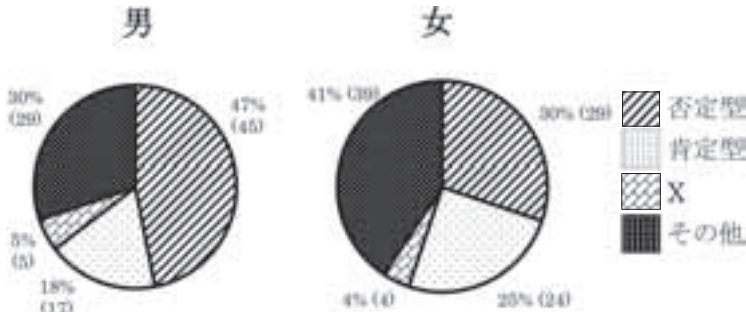


図4 「否定型」「肯定型」の性別による比較—依頼内容の負担度（大）

図4から分かるように、男性の回答では「否定型」の割合が47%と大きくなり、一方で女性の回答には「その他の型」の割合が41%と大きくなっている。図4では依頼内容の負担度が大きい場合のグラフのみを挙げたが、表3・4で見られるように、この傾向は負担度が小さい場合の回答にも同様に見られたため、男性は女性に比べ「否定型」を多く使用するといえよう。ここで注目したいのが、女性の「その他の型」の割合である。女性の回答には、「～してもらってもいい（かな）／もらうことってできる（かな）」と「～してほしいんだけど+α（例：ほしいんだけど、大丈夫?）」というものが非常に多く見られた。これらは否定型にも肯定型にも属さないが非常に婉曲的な表現であり、被依頼者への配慮が存分に感じられる。そこで、次に婉曲的な表現かそうでないかの違いに着目して考察をする。

#### 4.3. 婉曲さの違い

ここでは調査結果を「そのペンとってこない?」や「そのペンとって。」などの「直接型」と「そのペンとってくれたりする?」や「そのペンとってほしいな…」などの「婉曲型」の二種類に分類して考察していく。以下に、調査結果を「肯定型」「否定型」に着目して集計した表5、表6を示す。



表5 「直接型」「婉曲型」依頼内容  
の負担度一大

	男性	女性
直接型	63	35
婉曲型	33	61

表6 「直接型」「婉曲型」依頼内容  
の負担度一小

	男性	女性
直接型	89	70
婉曲型	7	26

表5、表6から、依頼内容の負担度と性別の違いのそれぞれによって「直接型」「婉曲型」の使用頻度に大きな差が表れることが分かる。以下では、表5、6で示した結果を参考に上記の各々の違いについて考察する。

#### 4.3.1. 依頼内容の負担度による違い

表5、表6から男女共に依頼内容の負担度が大きくなるほど「婉曲型」の割合が増えていることが分かる。以下の図1は、女性のデータを例に作成したパイグラフである。

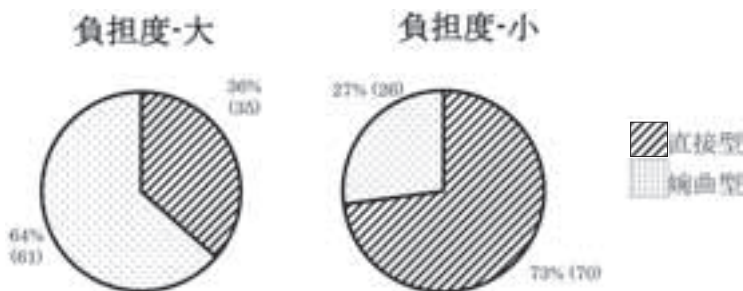


図5 「直接型」「婉曲型」の依頼内容の負担度の差による比較（女性の回答から）

図5から分かるように、負担度が大きいほど「婉曲型」の割合が大きくなる。図6では女性の例のみを挙げたが、表5、6から分かる通りこの傾向は男性にも見られたため、負担度が大きいほど「婉曲型」の使用が多くなると言える。この理由として、「直接型」を使用するよりも「婉曲型」を使用する方が相手に対する配慮をより明確に示すことができるということが挙げられる。例えば、「貸して」という直接型の表現と「貸してくれると嬉しいんだけど」という婉曲型の表現を比べると、後者の表現は相手にかなり丁寧な表現であることが分かる。ここで、今回の回答にも多くみられた「～だと嬉しい」と「～してほしいんだけど」という表現について説明する。山田（2004）によると、「～だと嬉しい／助かる」といった（条件＋評価）の形の表現は、「そのような状況になると後述のような感情を話者が抱くということを述べているだけである（山田2004, p. 253）。

また、「～してほしいんだけど」という願望を表す表現は、聞き手の誠実性に働きかけることによって依頼としての役割を果たし得るものである（山田2004, pp. 254-255）。このように日本語の依頼表現においては、それだけでは依頼という発話行為を成し得ないが、話し手と聞き手との文化や情報の共有によって単なる願望の提示や自らの感情の変化の提示によってそれが依頼になる場合が少なくない。今回のアンケート調査でみられた「直接型」と「婉曲型」との違いも、このような日本語の特徴によるものであるといえる。最後に「直接型」「婉曲型」の二つに着目した依頼者の性別による違いについて考察する。

#### 4.3.2. 男女による違い

図6は、負担度が高いもの同士の男女の回答のデータを例に作成したパイグラフである。図6から分かるように、男性の回答では「直接型」の割合が66%と大きくなり、一方で女性の回答では「婉曲型」の割合が36%と大きくなっている。図6では依頼内容の負担度が大きい場合のグラフのみを挙げたが、表4、5から分かる通りこの傾向は負担度が小さい場合の回答にも見られたため、女性は男性に比べて「婉曲型」の表現を多く使用するといえる。この理由としても、4.1.2で述べた「女らしさ」と「男らしさ」の違いが挙げられる。「気遣い・繊細さ」を表現するため、女性の回答には「婉曲型」が多く見られ、一方で男性では「決断力・積極性」を意識した言語使用として「直接型」が多くみられたと考えられる。

このことから、私たちが普段、依頼やその他の発話行為をする時に、ほぼ無意識に自分と相手の社会的な地位や関係性、互いの状況、さらには「男らしさ」「女らしさ」にみられるジェンダーについてまで考え、その場にあった適切な表現を選択していることが分かる。

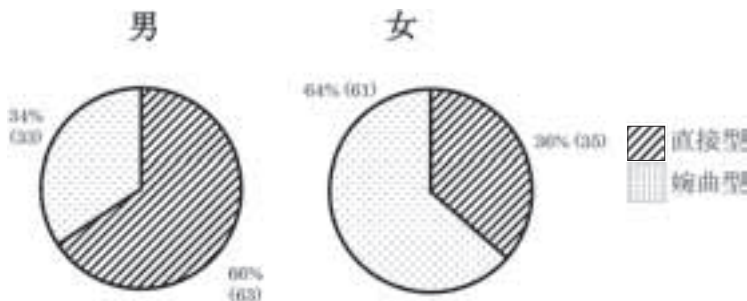


図6 「直接型」「婉曲型」の性別による比較—依頼内容の負担度（大）

## 5. まとめ

以上の結果と考察から、本研究の明らかにしたい2点についてそれぞれまとめる。

### ①依頼内容の負担度による違い

4.1.1、4.2.1、4.3.1から、日本語における依頼表現では、男女共に以下のそれぞれの表現の使用割合は、依頼内容の負担度が大きい程、「もらう型」>「くれる型」、「否定型」>「肯定型」、「婉曲型」>「直接型」となり、負担度が大きいほどより相手のことを考えた表現を使用していることが分かった。その理由として、ガ格の違い、聞き手の断りやすさなどが挙げられる。

### ②話し手（依頼者）の性別による違い

4.1.2、4.2.2、4.3.2から、日本語における依頼表現では、依頼内容の負担度に関わらず、以下のそれぞれの表現の使用割合は男性が女性よりも、「くれる型」>「もらう型」、「否定型」>「肯定型」、「直接型」>「婉曲型」となることが分かった。理由として、男性は決断力や積極性といった「男らしさ」に含まれる項目を、一方で女性は気遣いや繊細さなど「女らしさ」に含まれる項目を意識していることが挙げられる。私たちは普段の会話の中ではほぼ無意識に自分と相手の社会的な地位や関係性、互いの状況、さらにはジェンダーについても考え、その場にあった適切な表現を選択している可能性があることが分かった。

## 6. おわりに

本研究では、日本語における依頼表現について、性別による違いと依頼内容の負担度による違いのそれぞれについて調査し、分析した。その結果、依頼内容の負担度、話し手の性別により文末表現に違いが出ることが分かった。

本研究の反省点と今後の課題として、まずアンケートの作成方法が挙げられる。本研究では文末のみを下線部としたが、依頼表現全体としては依頼までのスモールトークや間の取り方、イントネーションの差など、調査すべき項目があると考えられる。それらを含めた結果を得ることができるロールプレイでの調査や会話を録音して文字に起こす形式を採用するとまた別の視点から研究することが可能である。次に、調査対象者の年齢を絞ったことが挙げられる。今回の調査では「～してくれたりする」などの若者に特徴的な表現が多く見られたため、年代を変えた場合また別の表現が見られると考えられる。以上で述べたことを、今後の研究の課題としたい。

## 参考文献

- 王志英 (2005) 『命令・依頼の表現 中国語・日本語の対照研究』 勉誠出版
- 岡本真一郎 (1988) 「依頼表現の使い分けの規定因」『愛知学院大学文学部紀要』 18, 7-14.
- 金昌男 (2000) 「日本語母語話者における依頼表現の使用実態について—「～てくれる／くださる」「～てもらう／いただく」を中心に—」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』 3, 30-43.
- 高井範子 (2009) 「ジェンダー意識に関する検討：男性性・女性性を中心にして」『太成学院大学紀要』 11, 61-73.
- 山田敏弘 (2004) 『日本語のベネファクティブ—「てやる」「てくれる」「てもらう」を中心に—』 明治書院

## ABSTRACT

The aim of this study is to examine differences in Japanese request expressions according to sex and degree of imposition (large or small). I focus especially on three kinds of expression, *morau* and *kureru*, *Can you~?* and *Can't you~?*, and use of euphemistic expressions.

The research was carried out using a questionnaire in the form of a discourse completion task. It consisted of 8 questions, including 3 request situations with a low imposition, 2 with a medium imposition, and 3 with a great imposition. The subjects were 32 male and 32 female college or graduate students.

The results show differences according to the degree of imposition. As the imposition increased, the use of *morau* increased relative to *kureru*, *Can you~?* relative to *Can't you~?*, and euphemistic expressions relative to non-euphemistic expressions in both males and females. One reason for these results is that these expressions allow the requestee to turn down the request. When the imposition is great, the requester needs to show more concern for the requestee, and this concern is often expressed by means of words. These expressions were also more common in the answers of females than those of males.

《付録：アンケート設問》

質問：以下の8つの場面において普段の会話をイメージし、各場面であなたが使用するであろう表現を下線部に記入してください。なお、問題文の語尾に何も付け加えをしない場合は、「×」を記入して下さい。

**設問1.【授業中、窓際の席に座っている親しい友人に窓を開けてほしい】**

あなた：ちょっと暑いから、そこの窓を開けて\_\_\_\_\_？

**設問2.【親しい友人からパソコンを借りたい】**

あなた：パソコンが壊れちゃって、締め切りが近い論文があるから一週間だけ貸して\_\_\_\_\_？

**設問3.【あなたは親しい友人宅にいて、お手洗に行きたい】**

あなた：トイレを貸して\_\_\_\_\_？

**設問4.【親しい友人から車を借りたい】**

あなた：明日までに〇〇まで行かなくちゃならないんだけど、そこは電車が通ってないから車を貸して\_\_\_\_\_？

**設問5.【ドアの近くにいた親しい友人に電気を消してほしい】**

あなた：(発表中に) プロジェクターを使って説明したいから、電気を消して\_\_\_\_\_？

**設問6.【メモをとりたいが筆記具を持っていなかったため、親しい友人から借りたい】**

あなた：ちょっとそのペン貸して\_\_\_\_\_？

**設問7.【明日自分が受けるはずだった雑誌の取材を、親しい友人に代わりに受けてほしい】**

あなた：明日雑誌の取材を受けるはずだったのだけど、風邪を引いて動けないから代わりに×時に〇〇まで行って受けてきて\_\_\_\_\_？

**設問8.【親しい友人にすぐ近くのコンビニに行ってきてほしい】**

あなた：(すぐに出さなければならない重要な書類の作成中) 今手が離せないから、代わりにコンビニで封筒を買ってきて\_\_\_\_\_？